

## 学園祭協賛行事 フォーラム 学生と図書館

「僕たちが残したものの、  
私たちが残すもの ～時を超えて～」

## 「ココロ帰ってくるココロ」



中川伸作 さん（第40回外大祭実行委員長・卒業生）

10年前の第40回外大祭実行委員長をしていたときに、第40回という節目を迎えて、『外大祭』も学園祭という基本に戻り、学生の行う祭りということを考えてみました。これからも形を変えながら学園祭を続けていくためにどうすればよいのか、ひたすら考えました。どこか筋の通った下地のキャンパスが必要ではないだろうか？前を向いて歩いてゆくには、後に待っていてくれるものがあれば、ほっとします。そこで浮かんだのが『タイムカプセル』だったのです。私の友人に司書課程を履修していた人がいて、その友人から「図書館には、資料を保存する役割がある。」という事を聞いたのを思い出して、タイムカプセルの保存場所を図書館の書庫でと思いつき、図書館の方々にタイムカプセルの保管をお願いしました。このような無謀な思いつきを快く引き受けてくださった図書館の方々には、本当に感謝の言葉もありません。そういう経緯でタイムカプセルを図書館の書庫にて10年間保存していただくことになったのです。今日このタイムカプセルを返していただくわけですが、その日を迎えられて、本当にドキドキしております。後輩の皆さんには、これからも学園祭で多くの人が喜びを得ることができる何かを企画・発案していただき、フォーラムなどで発表して実行してもらえればと希望しております。



## 「私の10年」

吉田修吾 さん（第41回外大祭実行委員長・卒業生）

10年前に中川さんが企画されたタイムカプセルを図書館で預かってくださいとお願いしたところ、快く引き受けていただき、図書館の方々には本当に感謝しております。この約10年の間に私には、本当にいろいろな事がありました。私は外大を卒業し、就職しました。そして結婚して子どもが生まれました。妻と子どもは、今日このフォーラムにも来ています。図書館の書庫は、いつも静かでゆっくりとした時間が流れているように私には思えるのです。タイムカプセルがそのような環境にあって、大切に保管されてきたのだなあとしみじみ感じています。今日このタイムカプセルが返還されて、自分たちで開けるんだと思うとまさに酒蔵に10年間置かれていたワインやウイスキーをあけて、飲んでみんなで祝いするような気持ちでいます。ただお祝いするだけでなく、10年前私はどんなことを日々想い、夢見ていたのか、そして今の自分はどうか、このタイムカプセルをあけて、じっくり検証してみたいとも思っています。とにかく今はタイムカプセルを開けるんだというワクワクした気持ちでいっぱいです。

このタイムカプセルに関わっていただきました図書館の方々、そして卒業生の皆さんありがとうございました。